

東久留米稲門会員 116名
 当市在住の校友数 895名
 うち早大校友会入会 355名
 入会率 39.7%
 都内の平均入会率 27.3%
 全国の平均入会率 26.9%
 (平成8年9月21日現在)

東久留米稲門会・会報

杜の西北

1997年3月
第3号

発行 東久留米稲門会

事務局 東京都東久留米市
新川町1-7-8

電話 0424-76-5432

FAX 0424-76-5430

広大な校地を誇る早大本庄高



骨太の大物になれ！
ユニークな高校づくりを進める早大本庄

榎本学院長(当会顧問)に聞く

当稲門会顧問の榎本隆司先生(早大教授兼任)が学院長を務められる早稲田大学本庄高等学校を訪ねました。ここは85万平方メートルを超える広大なキャンパスを誇るとともに入学試験に「α(アルファ)選抜」というユニークな制度を導入しています。折りしも、ただいま入試のシーズン真っ盛り。学院にお邪魔して、その制度を中心に現代高校教育論をうかがいました。聞き手は山下香緒里さん(平3教)

——「α選抜」というのは、どんな入試制度でしょうか。

榎本学院長 いわゆる一芸に秀でた子を優先的に入学させるのとはちょっと違います。たしかに一芸をやってきた子、なかを一生懸命やってきた子はアルファを身につけている。しかし本校は一芸の芸にポイントを置いてみるのではなく集中力があるとか、やる気が旺盛だとか、その学ぶ姿勢に期待している。しかし入試の合格点の下限は決して落としたりはしません。

平成7年度から実施して54キロ級のレスリングをやる子が入ってきました。埼玉県下には何年も全階級制覇を続けている強豪校があるんですが、そんななかに出かけて行って優勝した。「ぼくはスポーツだけの高校なんかいやだ。だから早稲田本庄にきた」と新聞社にコメントしてましたが、上級生が彼に非常に刺激されました。



——「α選抜」を採用された動機はどのあたりに？

学院長 早稲田には高校、学院、早実などがありますがそれぞれ独自の個性をもった学校づくりを目指しています。本校は早大本部から100キロも離れている。これはハン

●早大本庄高等学校の概要
 開校・昭和57年4月。生徒総数720名(18学級編成)。卒業生の100%が早大進学。学院の敷地・85万6498平方メートル。所在地・埼玉県本庄市西富田

ディですが一方、85万平方メートルという広大な敷地を持っていて。キャンパスのなかにケモノ道まで何本もある大らかな自然を享受しながら「大物たれ。骨太に育て」を教育目標にしています。また「自ら問い、自ら学ぶ」「自律と自立」がスローガンです。しかし現実にはいまの子は、どこでも自分でちゃんとやるのがなかなかできない。あるところまで用意してやらないうですからましてや高校生は手を添えて引っ張ってやらないとダメ。体を動かすことも非常に少ない。秋に落ち葉がキャンパスを埋めても拾う子はいない。私は「汗する創造」が大事だといっているんです。体を動かす中から真の創造力が生まれると。そんな意味でやる気のある、αのある子を入れることを考えました。1学年の定員240名のうちα選抜は20名。私は40名ぐらいにしたい。(2頁下段に続く)

未入会の方も投稿を！ 3面

●海外通信

セーヌ河畔に響く
「都の西北」

駐仏日本大使館から

当会会員 館 美奈子



パリの中心街の、凱旋門の脇に刻まれた彫刻がいやでも目に入るオフィス、日本大使館の別館。そこが私の新しい職場。十数年前、パリ大学に通い始めた頃は一フラン七十五円。今は円安といっても二十三円。パリにきたばかりの、外食もままならなかった頃が嘘のように思ひ出されます。

シラク大統領のいるエリゼ宮が目と鼻の先にあるので、彼の行動が気になります。大統領は一昨年就任早々、ムルロア環礁の核実験で広島、長崎被爆五十年目を迎えた日本人の心情を逆撫でしたものでした。

しかしフランス国民、特に地方の人々の日本に対する知識は日本人が開国以来抱いてきたフランスへの片思いにも似た憧憬と知識に比べ、まだゲイシャ、フジヤマ、ホンダ、ソニーの域を出ていません。

そこで、現代の日本をもっと

知ってもらおうと、この四月から一年間フランス全土で「日本年」というフェスティバルを開催することになりました。

現在、パリの日本大使館広報文化センターの日本年準備室では四百にもものぼる計画があげられています。主なものとして五月にパリ日本文化会館のオープニングセレモニーと記念行事があげられます。磯村尚徳氏が館長となるこの会館は十年來の日仏の懸案でした。今後、ここを拠点にして日本とフランスとの文化交流が精力的に展開されることが期待されています。

ところでパリの稲門会が一月

末セーヌ河畔の日航ホテルで開かれました。出席者百二十人。在パリのワセダマンのほとんどが出席して大変な盛会でした。日航や全日空の社長さんたちもみえましたが、みなさん最近の日本を案じるお話ばかり。しかし閉会前の「都の西北」「紺碧の空」の大合唱は私にとって実に十数年ぶりの校歌、応援歌。熱いものが体じゅうを駆け巡りました。

(昭52法)

私は一昨年四月、古稀記念に「語らい会」の旗上げをしました。多少の知的好奇心や向上心を楽しみながら、中高年の人たちが愉快に話し合える場をつくりたいとの思いからでした。

市の広報紙や地域紙にも予告してもらい、三十名の会場を用意し、もっと多くの人がきた場合はどうしようかと、そればかり心配していたのに出席者はたったの三名でした。万が一のことを思い、最初だけでよいからと嫌がるのを無理にきてもらった友人たち八名と併せ十一名の寂しいスタートでした。

その後、会の存在もしいに知られるようになり、公民館の



「語らい会」事始め

竹村 鉄郎



認定講座にも組み入れられ、出席者も三〇四十名と安定してきました。昨年私が「登山文学散歩」の話をしたときは、太田晴之助さん(当会副会長)のご幹事により稲門会の皆さんも十名以上ご出席いただき、会場いっぱい

会の存在についてはマスコミなどで報道されることはありませんでしたが、先般、産経新聞が生涯学習サークルの問題を記事にしたなかで「語らい会」をとりあげてくれました。

それがPR効果を生んだので

しょうか、過日、都の外郭団体で多摩三十一市町村対象の「TAMAM市民塾」(府中市)から問い合わせがあり、「山と文学」シリーズで四月から九月まで六回、講演することになりました。

また、「語らい会」を稲門会の外郭サークルとお考えいただき、できるだけご出席くださるようお願いいたします。

ご承知のように若山牧水と種田山頭火はともに稲門出身で、山、旅を愛し、日本で歌碑、句碑もずばぬけて多いナンバーワン同士、人々から深く敬愛されている詩人です。当日はぜひ多くの稲門会の皆さんにお越しただけよう、今からお願いたします。

(昭23商)

1頁から続く

——そのほかの特色を挙げていただく——

学院長 遠隔地からくる生徒のために委託ホーム方式を用意しています。地元の人たちとの交流が大事です。校則も大幅に削り服装も自由化しました。早大同様、自由の府にしたい。新校舎の建設、男女共学も私自身は視野に入れながらやっています。

——ところで、東久留米稲門会の顧問として私達の稲門会に対するご印象を。

学院長 どんな組織でも運営に大変な御苦労が伴うものです。が東久留米稲門会では中心になる方が実によくやっておられる。十分期待するに足る会だと敬服しています。ただ私の顧問はおかしい。一校友として平等に扱っていただくようお願いしたい。



青春が叫ぶ！
応援リードの大矢氏

昭 和50年4月、学部入学を終え、すでに入部を伝え、ある応援部の部室に向かいました。大きな校旗が何本も壁に掛けてあり、さすが大学の部は違ふなと感心するのも束の間、初日の練習が護国寺の大隈重信侯墓前で校歌斉唱で始まりました。

その後5月末の早慶戦が終わるまでの2ヵ月というものの、午前中の授業には出席していたような気がしますが、新聞もテレビもない日々が続きました。午前中は部室の掃除と電話番、応援歌、テクの練習、午後は全体練習、学年別練習、そして飲み会という毎日でした。

応援部員に地方出身者が多かったためか、またはエールや応援歌には方言が関係ないためか先輩や仲間から「なまってる」などといわれたことのなかった私には少々ショックでした。

て応援部といえ、なんといっても春秋の早慶戦ですが、1年春の初めてのそれと4年秋の最後の早慶戦は一番思い出深いものになりました。



わが早稲田時代

26年ぶりの完全優勝

応援団員の

醍醐味に酔う

大矢 真弘



現在の大矢氏

川、明治の鹿取、高橋がおり、早稲田はなかなか優勝できずにいましたが、4年の秋には早慶とも勝ち点4、26年ぶりの完全優勝という、またとない機会が

然早稲田が優勝し、3年ぶりに天皇杯を早稲田の杜に持ち帰りました。2万人を超える早大生のパレードと記念会堂裏グラウンドでの感激の祝勝会を経験でき、早稲田大学にはとても感謝しています。

卒 業した年の春も岡田らの活躍もあり連続優勝し、今度はOBとして優勝パレードの手伝いに行きました。すると現役のときには気づかなかった提灯販売からパレード後の清掃まで、応援部OBが現役の活動の支障のないように手伝っていたことを知り、派手な舞台で得意になつていたかつての自分が恥ずかしくなり、今後はあのようない貴重な経験をさせてくれた早稲田や応援部のためにはできる限り協力をしなくては、と考えるようになりました。

今、振り返ると大都会東京への不安、青春時代特有の不安を乗り越え、かつ様々な人々とのふれあいの場を得た早稲田時代が、私にとってかけがえのない糧になっていることをつくづく実感するのです。

(早稲田実業職員Ⅱ昭54文)

投稿歓迎。

会員、未入会の校友を問わず、奮ってご応募ください。テーマは「わが早稲田時代」「早稲田とはなにか」など早大関連であれば結構。字数1200字程度。締め切りなど詳細は事務局へご照会を。

近況・僅況

◆社団法人日本ロボット学会に勤めていますー羽鳥千夏(昭58文) ◆夏17日間、伊独瑞埃英の6ヵ国を妻と回りました。大変楽しい旅でしたー深沢政次(昭28政経) ◆秋、鳥取、島根を旅し中央との格差など、中央集権の弊害を実感しましたー小野塚博(昭26商) ◆11月スペインへ。石造りの文化で中世がそのまま残っているのに深く感動しましたー大川洋子(昭29文) ◆著書「ヨーロッパの光の中で」近代イギリスの自由と歴史の2冊を、いずれも大明堂からだしましたー柴田卓弘(文学部教授) ◆7月階段から2回落ちて動けず2日間絶食。宗教哲学の本を古代より始め現在道元に至っていますー大内臣男(昭19理工) ◆9月毎日新聞社を定年退職。現在、週1回早大図書館や高田馬場の卓球場にチャリンコで通っていますー木村勇(昭38文) ◆7月チユーリッヒでユーロ円建て転換社債発行の契約調印のため訪欧。帰途、名画「旅情」のキャサリン・ヘップバーンらを偲びゴンドラに揺られてきましたー市川英雄(昭33政経) ◆古寺美術や日本古代史探求に熱中。仏像の美しさ、古墳など遺跡のもつ古代ロマンを楽しんでいますー大久保泰司(昭30法) ◆現在、市内で介護シヨップ「たんぽぽ」を開設、お年寄りや障害者が少しでも、あたり前の生活ができるようお手伝いしていますー高室月子(昭41文)

技師にOBがいっぱい

東海村・動燃 見学

電力需要の3分の1を原発に頼る現状は私達の一大関心事です。そこで当会は茨城県東海村の「動燃」の見学会を行いました。動燃には早大OBが技師中心に20数名おり説明に懇談に親切に対応してくださいました。原発問題の焦点は人々がその



「世界最先進の設備の中で・・・」

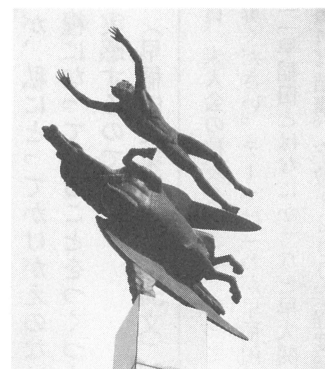
安全性に不信と不安感を拭い去れないことですが、「私は国家公務員の待遇だけ。そんなに危険ならとくにやめてますよ」とあるOB技師。たしかに私達は想像を越えた世界最高水準の諸施設に目を見張り、原子力行政の並々ならぬ熱意を感じるのになりました。陸海空の放射能測定、地中深い原子炉の中核部、自動警護システムの許可なしには鼠1匹入れない管理態勢にだいが安堵しました。当日は核燃料再処理工場や地層処分研究、実験炉「常陽」、照射燃料試験の諸施設など計10カ所を見学、実に有意義な1日でした。

あれから原発のニュースを聞くたびに真摯で信頼感に満ちた顔々が思い浮かびます。そして厳しい是非論に耳を傾けながら原発の行方に一層関心を深めているところです。(菱山房子)

先進設備が勢揃い

早大人間科学部 探訪

西武池袋線・小手指駅から徒歩で15分、所沢キャンパスの人間科学部は緑濃い狭山丘陵にある。この学部は人間基礎学科、人間健康学科、スポーツ学科に分かれ、人間を自然環境や社会環境などの関連において総合的に把握することを研究・教育の目的としている。700人教室、モニター設備整理教室、最新トレーニングシステムを取り入れた体育館、早大中央図書館をはじめ全学の図書情報を利用できる所沢図書館など、恵まれた施設は21世紀を展望する学部にあふわしい。キャンパスは広大で、起伏に富んだ道を歩いているとハイキング気分になる。「この学生はいいな。もし本



モニュメント「人とベガサス」

部キャンパスが昔とあまり変わっていないとしたら、この差！本部の学生が気の毒なものだ」と感じられるほど、素敵なキャンパスだ。(山岡恭子)

★人間科学部のデータ

設立年度1987年4月▽総面積35・5万平方メートル▽学生数約2400人▽教官数84人▽卒業した有名人▽萩原健司・次晴(スキー)相原直樹(サッカー)渡辺康幸(マラソン)

集会ごとに、

思い出づくり

女性サークル

平成7年9月に発足した女性サークルでは独自に10回ほどの会合をもち、楽しい交友関係の輪が広がっております。

現在会員は13名で、例会も常に7〜8名は出席します。全員で「東久留米市内を知ろう」という合意のもとに平成8年度は

5月19日「野崎美術館・近郊散策会」を開催しました。新緑のなか参加者21名は武蔵野の面影が残る柳窪の同美術館で平山郁夫、橋本明治や若手作家の絵画や彫刻、陶芸などを鑑賞。次いで「旧家・村野邸」を訪問。手入れの行き届いた庭、茅葺き屋



アクセサリーづくりに励む会員と家族

根の落ち着いたお屋敷のたたずまいに往時をしのびました。

次いで12月1日は「和紙小物アクセサリー講習会」を大人8名、中学生2名の参加を得てコミュニティホール東本町で。色とりどりの和紙100枚に歓声をあげながら鉛筆、ハサミ、ボンドで簡単にブローチやループタイができ参加者全員大満足。黒一点の太田さんが写真係を兼ねて参加し、会に花を添えてくださいました。(柴田征子)

武蔵野のうどんを求めたら
安くて「なべきち」に
来ました

二ツが本物うどんの
うどん亭
なべきち

東久留米市幸町362
東久留米・旧市役所前
JA東京みらいとなり
TEL 0424-76-0141

小回りの利く
スピーディな「街の印刷店」

清文堂印刷所

東久留米市滝山5-1-4
TEL 74-1787

まかせて安心 受けて確実

OA・事務機器・事務用品

株式会社 證文堂

営業部(金山町店)
〒203 東京都東久留米市金山町2-3-4
☎(0424)71-3939 FAX(0424)71-7373
本町店
〒203 東京都東久留米市本町2-5-1
☎(0424)74-3939 FAX(0424)75-3636
滝山団地店
〒203 東京都東久留米市滝山4-1 34
☎(0424)71-6564 FAX(0424)76-
消費者が選ぶ最優秀店賞受賞

東久留米最強の進学塾

『めんどうみ』の良い指導で
今年も飛躍的な合格実績を
約束します

東久留米駅 北口下車すぐ

早稲田アカデミー

東久留米校
☎0424(75)5301

東稲俳壇―《秀句探索》

選者―橘正治・俳句部会長
バスが往き来の間落葉生き返り

馬場清彦(昭28商)

作者は元体操選手。バスに落葉が飛ばされ、舞い、一瞬生ある如く。体操の実像重ね：石仏や濡れて彩なす散紅葉

大久保泰司(昭30法)

紅葉を詠んだ美しい句。散る紅葉が古き石仏にはりつき模様を描く。年代ものとの対比更衣徒手空拳でありにけり

植松菱青(健一)名誉教授
借辞「徒手空拳」がきいてい
る。衣替えなんて年じゃない
長年の身一つで十分、の音が
栗の実やみちのくの同友如何
あらむ 高橋貞一(昭26法)

栗の実を見て故郷を想い、竹馬の友はどうしているか回想「栗の実や」の切字が強調。寒鯉の掉さす如き動きよき

橘雅契(昭29文)

(自注)野火止用水の流れに尾を操り、悠々泳ぐ鯉。これからの人生、かくあるべしとむらさきの夜明け師走の鼓動あり 杉本達夫・文学部教授
寒い朝、紫色の美しき夜明けの景。年末はもちろん、来年もよい動きあれと期待こめて
★昨年は5回、句会を開きました。次回は4月19日、会場は未定。

日和田山、高麗郷へ

山歩き・散策部会

初参加の人も多いから足慣らし程度のコースがいいと埼玉県日高町の高麗郷を選択、10月5日出かけました。参加者23名。まず標高305メートルの日和田山の山頂を制覇(?)したあと帰化文化の里、高麗郷を見下ろしながら昼食。

下山後は奈良時代、高句麗から亡命、この地に入植、田を開き機(はた)を織り登窯(のぼりがま)で陶器や瓦を焼き紙を漉く技術で新しい村を興した若光(じゃくこう)王を祀る高麗神社へ。さらに足を延ばして蛇行する川の間広がる巾着田も見学。全行程10キロ余り。脱落者なし、でした。(太田晴之助)



日和田山の中腹でひと休み

「健康と親睦」が合言葉

ゴルフ部会

昨年、春秋2回のコンペを浦和ゴルフ倶楽部で開催。いずれも天候に恵まれ初参加の方も十分楽しんでいました。優勝は春は安宅会長、秋は森本監事。

アフターゴルフの親睦会も有意義な時間で、実のあるニュースを交換し楽しく歓談して、またたくつろいだひとときを過ごせると全員から大好評をいただきました。

今年も部会のモットー「健康と親睦」を高めるため、会員のご協力を得ながら内容の、より充実した部会にしたいと念願しております。(川上昇一)

他流試合を計画

囲碁部会

昨春12名で発足した部会ですが、現在部員は16名になりました。毎月1回中央公民館で和氣靄々と楽しんでいます。夏には親睦会を催し、一夜、囲碁談義に花を咲かせました。今後は部員の棋力の一層の向上を図るため種々の研修方法を考えており将来は近隣の稲門会との親善試合も行いたいと思っています。なお、初心の方には懇切に手ほどきをいたします。どうぞお気軽にご相談ください。

(安藤信雄)

97 新年会 陶然!

1月18日午後6時より本町2丁目の日本料理店、浜波で開催され参加者54名を数える盛会となった。高橋勤事務局長の司会で挨拶に立った安宅武一会長は当会の活発な活動実績と今後の計画の一端を紹介。より充実した活動を行うためにも新入会員を増やすべく協力を呼びかけた。

杉本達夫文学部教授の音頭で乾杯。そのあと新入会員の自己紹介。木村勇氏のヴァイオリン演奏などもあり会員の多才ぶりが改めて印象づけられた。



ビンゴゲームで童心に返って大いに盛り上がり、有志によるカラオケのあと歓談は尽きなかった。最後は応援部OBの大矢真弘氏のリードで校歌と「紺碧の空」を全員で大合唱、記念撮影ののち、お開きとなった。本年の一層の発展を予感させる盛大な幕開きであった。

(山下香緒里)

川魚・活魚・ふぐ料理

クラス会・ご法要
各種ご宴会
△5名様より100名様
まで承ります

活魚 割烹 浜波

東京都東久留米市本町2-2-17
TEL 0424-73-1001
74-4551

5名様より ご宴会
ご予約 承ります
宴会コース
2000~5000円

ご宴会の後 カラオケも
ご利用できます

〒203 東京都東久留米市東本町1-15
ヴィステリアエムエフビル2F

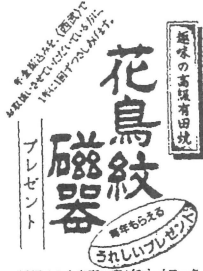
気軽なやすらぎ処

いさみ茶屋 東久留米東口店
TEL 0424-71-6831



有限 会社 黒目書房

本店 東久留米市本町1-3-1
TEL (0424) 72-0071
FAX (0424) 79-7414



西武信用金庫
東久留米支店
0424(75)5311

平成9年度 事業計画(案)

一、会員の増加を図る

☆現会員の紹介によるきめ細かな呼びかけ

☆通常総会をイベントとして成功させる

☆未加入者向けのパンフレットの作成

二、財政基盤の強化

☆会員増加による会費収入増

☆広告収入の増加

三、活発な部会活動の推進

☆部員の声を十分に聞き、生き生きとした活動を展開する

☆女性サークルのTWN(稲門女性ネットワーク)への参加

☆機を見てダンス部、書道部を発足

四、全体のイベントの企画推進

☆キャンパスツアーへの参加

☆オールワセダ文化週間への参加

☆校友大会への参加

☆グリークラブ演奏会準備会のスタート

【行事】

▽1・20新年宴会。参加47名▽

4・13第2回通常総会。来賓、中嶋宏校友会本部代表幹事、近隣稲門会役員8名、会員67名出席▽2・23第1回幹事会6、8、10、12月の5回開催。

【広報】

▽1・1ハガキ通信3号「東稲通信」年賀として発送。4、7、10月と年4回発行▽3・3会報「杜の西北」第2号発刊▽7・5会員名簿発送。収録会員数116名。

【サークル活動】

★ゴルフ部会(部会員31名)▽6・12第3回コンペ。参加15名。浦和CC▽11・19第4回コンペ。参加17名。浦和CC

★囲碁部会(部会員16名)▽3・17設立。毎月例会開催。★俳句部会(部会員16名)

★4月13日の第3回通常総会では日比野弘・人間科学部教授(元早大ラグビー選手、監督)の講演会を開催します。会場は今年オープンした東久留米市の新庁舎・市民プラザで。多くの校友の参加、さらに一般市民の出席も呼びかけています。★ダンス部会設立にともなう会員募集

▽4・15設立。隔月開催。★女性サークル(部会員13名)▽5・19野崎美術館見学と散策会▽11・10「川ふじ」で昼食集会▽12・1和紙アクセサリー講習会。女性会員の隔月集会。

★散策・山歩き会(部会員42名)▽10・5日和田山と高麗散策会。

【会員対象のイベント】

▽1・10田無タワー見学会参加10名▽5・25早大人間科学部見学会。参加29名▽7・3茨城県東海村の原子力施設見学会。参加16名▽11・3早慶戦野球観戦会。早大圧勝。参加12名。

【近隣稲門会との交流】

▽3・23小金井稲門会「春のつどい」出席。太田副会長▽5・17東京23区稲門連合会結成大会出席。

密度の高い活動展開 平成8年度 事業報告

平成8年度東久留米稲門会収支決算書 (自平成8年1月1日至平成8年12月31日)			
支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
総会費	424,076	総会収入	330,000
通信費	201,905	(68名×5,000)	
印刷費	87,860	年会費	348,000
消耗品	17,299	(116名×3,000)	
会議費	21,370	祝金	25,000
交際費	35,000	校友会補助金	300,000
備品費	11,580	広告収入	10,000
「杜の西北」印刷費	46,350	利息	81
部会補助金	50,000	雑収入	5,746
イベント事業費	19,647	前期繰越金	117,601
繰越金	221,341		
合 計	1,136,428	合 計	1,136,428

事務局からのお知らせ

アンケートを昨年11月実施しました。教師には会員の高橋貞一さんの夫人で、舞踏界では最高の称号フェローをもつ圭子先生の快諾を得ていましたが参加希望者が男性8名、女性5名と少数でしたので今回は見合わせることにしました。あしからずご了承ください。★書道部会の設立について数名の方から要望がありました。部員が集まれば設立したいと考えています。会員

●入会のご案内

当稲門会へのご入会は年会費3千円。振込み先は次の通り。郵便振替0010001611607東和銀行東久留米支店(普通)651340口座名義はいずれも「東久留米稲門会」。問い合わせは高橋勤・事務局長☎76・5432へ

ポケットパーク

▼校歌を歌うたびに熱い思いがわいてきました。1年間数多くの行事で出会った先輩達そして後輩達の顔、顔、顔。企画してくださった皆様ありがとうございます(M・E)▼大人だけの家庭になるといついかなる時も無沙汰してしまう。立春の頃、毎年天袋に仕舞い込んだ雛人形のこと。気がかかる。久しぶりにお雛様飾ってみようかな。桃も菜の花も(F・H)▼早大高等学院1年の息子がビル清掃のアルバイト。私は反対でしたが彼は強行。早朝暗いうちに家を出て帰宅は夕方。時々腰が痛むようでしたが、無事終了しました。以前から欲しかった物を買いました。私は毎日作った弁当代として5千円くれました。息子の成長をちょっぴり感じた冬休みでした(キョン)▼没後20年の特集をみてイタリア映画の巨匠ヴィスコンティに熱中しています。様々な背景の中に焙り出される人間のドラマが鮮やかに胸に迫り、美しい映像を支える思想の厚みに圧倒される思いです。「本物」は時を越えて新しいのです。と、ところで、どなたか私と人生を歩んで下さる方、いらっしゃいませんか?(GAO)▼日105、米108、伊172、韓178。これ、国民1人当たり年間野菜消費量(kg、FAO資料92)。昨年は0157騒ぎでさらに消費減のはず。英国では草食の牛に羊の内臓を与えたら狂牛病が蔓延したといわれています。最近日本が狂ったのも、2千年の菜食中心の伝統を忘れて、多肉少菜に落ちぶれたためでは。(国)

「杜の西北」第3号

1997年3月 発行
発行人 安宅 武一
編集人 国米家三
編集委員 柴田征子・菱山房子
山岡恭子 山下香緒里
事務局 高橋勤 76・5432
印刷所 清文堂 74・1787